

2013年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	情報学科							
科目名	ソフトウェア工学							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期			
必修・選択の別	必修							
担当者	高橋圭一							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターフォールモデル、プロトタイプモデル、スパイラルモデルなど基本的なソフトウェア開発プロセスについて理解する。 ・要求分析、設計、実装、テスト、保守に関する基本的な用語及び手順を理解する。 ・プロジェクト管理、品質管理、工数見積りに関する概要及び基本的な用語及び手順を理解する。 							
日程と内容	4/ 8 導入講義 4/15 コンピュータとソフトウェア 4/22 ソフトウェア・ライフサイクル 4/29 ソフトウェア開発プロセス 資料 5/13 ソフトウェア見積技法 5/20 構造化分析・設計・プログラミング 資料 5/27 構造化分析・設計・プログラミング 6/ 3 構造化分析・設計・プログラミング 6/10 オブジェクト指向分析・設計・プログラミング 6/17 オブジェクト指向分析・設計・プログラミング 6/24 オブジェクト指向分析・設計・プログラミング 7/ 1 ソフトウェアの品質管理 7/13 プロジェクト管理 7/15 ソフトウェアの保守・標準化 7/22 まとめ 7/29 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターフォールモデル、プロトタイプモデル、スパイラルモデルなど基本的なソフトウェア開発プロセスについて理解する。:達成した ・要求分析、設計、実装、テスト、保守に関する基本的な用語及び手順を理解する。:達成した ・プロジェクト管理、品質管理、工数見積りに関する概要及び基本的な用語及び手順を理解する。:達成した 							
反省点	一昨年に問題があったため、定期試験の問題を選択式から全問必修式にした。そのため、山を張っていた多くの学生が定期試験で点数が取れず臨時試験あるいは補習対象者になった。定期試験の出題は講義資料に明記しており、これで得点できないということは授業中に身に付いていない、あるいは定期試験前の復習が足りないと考えられる。							
来年度の計画	各回で理解度を確認する試験、定期試験前の復習などを取り入れるようにしていきたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.2であった。アンケートのコメントに「わかりやすい」「資料が見やすい」などのコメントが複数あった。							
履修登録者数	71名	定期試験受験者数	65名	合格者数	63名	合格率	97%	